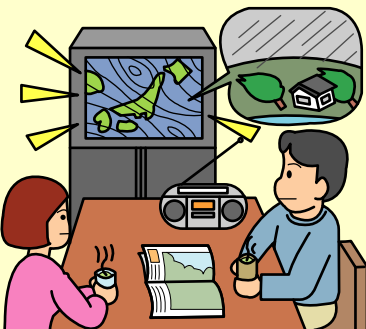


展示コーナー案内図



緊急時に対する準備は万全ですか？

水害から身を守るためには、ひとりひとりが水害に対して関心を持ち、いざという時に備えて、日頃から準備していることが大切です。私たちにできることから始めましょう。



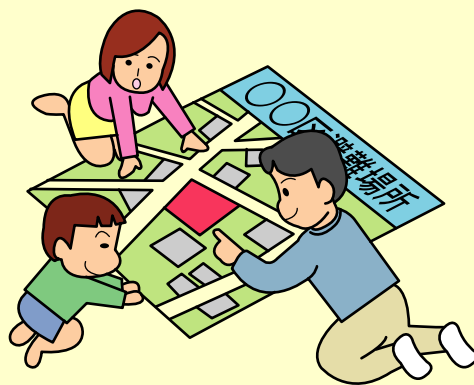
日頃から、天気予報や注意報に関心を持ちましょう。

日頃から天気予報や注意報に関心を持ち、台風時など水害の恐れのあるときには気象の移り変わりを正確に知るようにしましょう。

雨量・水位情報の収集をしましょう
<http://www.okakawa-mlit.go.jp/>

避難場所と経路を確認しておきましょう。

家族全員で、避難時の対応や経路・場所を確認しておきましょう。また、避難時には、老人や子供、病人、婦人などを優先的に避難させましょう。周囲の状況をよく考えて判断し、なるべく単独行動は避けるようにしましょう。



緊急時の携行品をひとつにまとめて準備しておきましょう。

避難時に備えて貴重品や衣類、非常用食料などをひとつにまとめて用意しておきましょう。また、停電に備えて、懐中電灯や携帯ラジオなどの準備をしておくことも大切です。

主催

国土交通省中国地方整備局、岡山県

後援

全国水防管理団体連合会、山陽新聞社、岡山日日新聞社、朝日新聞社岡山支局、毎日新聞社岡山支局、読売新聞社岡山支局、産経新聞社岡山総局、中国新聞社岡山支局、日本経済新聞社岡山支局、日刊工業新聞社岡山支局、(社)共同通信社岡山支局、時事通信社岡山支局、NHK岡山放送局、山陽放送、岡山放送、西日本放送、KSB瀬戸内海放送、TSCテレビせとうち、倉敷ケーブルテレビ、玉島テレビ放送、(社)日本河川協会、(財)河川情報センター、(社)中国建設弘済会